

2024 年度前期 START プログラム 事後レポート

所属学部・学科・学年	理学部物理学科 3 年
------------	-------------

(1) START プログラムに参加して何を学んだか、この経験を今後どのように活かしていきたいか

私が START プログラムの中で最も学びとなったと考えている体験は、台湾の方々とのコミュニケーションである。プログラムの中では、大学の教員や学生、またホテルで出会った観光客など多くの方との交流を図る機会があり、日本語を話せる方も多くいらしたが、英語でコミュニケーションをとらなければならない場面も多くあった。

私自身初めての海外渡航であったため、渡航前は自分の英語がどの程度通じるものか不安を感じていた。しかし、いざ話してみると案外意思疎通を図ることができ、たどたどしくて文法的には少々乱雑な表現であっても、お互いに考えていることを補いあって会話を楽しむことができた。伝わりづらいことがあったとしても簡単な表現に変えたり(変えてくれたり)、スマートフォンで伝えたいことを画像検索したりすることで、たいいていのことは伝えることができ、その点では自信をもつことができた。

しかし一方で、英語で行われる講義や説明には聞き取れない部分も多く、自分の英語力の足りなさを実感する場面もあった。特に半導体の施設や国立中央大学の研究機関における見学の際には専門用語を用いた説明をされ、内容自体も簡単ではないため理解できない部分も多く、英語力はもちろんのこと、自分自身の科学に対する知識やリテラシーも広げなければならないと感じた。

今後の学生生活では、英語の勉強を進めていくとともに、日本人外国人関係なくもっと様々な人とかかわっていきたい。

(2) プログラム内容についての全体的な感想

本プログラム台湾コースでは、大学や研究機関、企業を訪問して半導体を筆頭とする進んだ科学技術・産業のありようを学ぶとともに、国立中央大学で客家や基礎的な中国語の講義、また中正記念堂や二二八平和公園などの歴史的建造物の訪問を通して台湾の歴史・文化を体験した。

テーマが広く、様々な学部の学生と関わることができたことはとてもよかった。また、ホテル滞在でホームステイ等もなかったのも、カルチャーショックはそれほどなく、私のように初めての海外渡航する人でも、ハードルが低く挑戦することができたのではないと思う。

(3) 今後 START プログラムに参加する後輩へのアドバイス

私のプログラムの参加経験から、プログラムに参加される方々に是非していただきたいことは次の 2 である。

① 事前に基礎知識(半導体など理系なことは特に)をある程度身に着つけておく。

これは、私の反省からいえることであるが、上述した通り研究施設の見学などにおいては説明が英語で行われる場合が多く(例え日本語で行われる場合でも)、全くの知識ゼロで臨むと貴重な見学も多量の疑問を残して終わることとなる。関連書を読むなど、その施設に対する予習をしておいたほうが、より高度な視点で見学・体験に参加することができ、より有意義なものになるのではなかったのではないかと、自分自身反省をしているので、これから行かれる方はぜひ入念な準備をしてからプログラムに参加して欲しい。

②（渡航中の）自由時間にもいろんな所に行ってみる。

プログラムは毎日昼から夕方あたりには終わり、そこから自由時間となるので、その時間にも渡航先のさまざまな場所に訪問して欲しい。私は、他の参加者や中央大学の学生とともに、電車やバスを用いて、台北の 101 や美しい港町で観光地となっている淡水などに行った。楽しむだけではなく、その国の交通機関はどうなっているか、街並みはどうか、名物は何かなど、組み込まれているプログラムだけでは感じ取れない国のありようを学ぶことができ、またコミュニケーションを深める機会にもなった。

2024 年度前期 START プログラム 事後レポート

所属学部・学科・学年	教育学部第五類心理学系コース二年
------------	------------------

（１）START プログラムに参加して何を学んだか、この経験を今後どのように活かしていきたいか

私はこのプログラムに参加して、主に２つのことを学びました。１つ目は、現地に赴いて実際に目にしなければ分からないことがたくさんあるということです。渡航前から台湾についての事前講義を受けたり、自分で台湾について調べたりしていましたが、写真や文章で大体知ったつもりになっていても、それだけでは知ることができない情報がたくさんあり衝撃を受けました。現代では海外に行かなくても、画面越しに海外の様子を鮮明に知ることができるように思いますが、実際に海外の地でその場所の空気感や人々の様子を感じることは、依然として何にも取って代わられない貴重な経験であると強く思いました。２つ目は、自分が生まれ育った文化とは異なる価値観です。私たちのプログラムでは、台湾の学生さんと交流をすることが多くありました。そこで大学生活や日常生活について様々な意見を交換する中で、台湾の学生でアルバイトをしている人が少なかったり、一つ以上の教科を専攻していたりするなど、日本では標準ではないことが台湾では普遍的であることが多くありました。また、台湾の学生さんは日本をはじめとするアジア諸国のアニメや漫画、音楽などの文化や言語に通暁している方が多く、海外の文化に興味を持っている方にたくさん出会いました。

以上の学びから、台湾に行った経験はこれからの人生計画に活かしていきたいと思いました。どのような分野の職業に就くとしても、日本国外で異文化を経験することで、多様な背景を持つ人々のことに対して配慮ができるようになったり、より柔軟に物事を考えられるようになって仕事の幅が広がったりすることがあると考えます。そのため、これからも自分が興味のある職業の分野に関連する留学をすることや、様々な国の文化や情勢について常に興味を持つことなどを視野に入れていきたいです。

（２）プログラム内容についての全体的な感想

START プログラムは、多くの学生に開かれたプログラムであり、とても有意義で楽しい経験をするができるものだと感じました。どのコースも魅力的で学習意欲が刺激されるようなスケジュールが立てられており、渡航期間に関しても、渡航経験が少ない人でもチャレンジしやすい長さでした。事前講義から渡航後まで、先生方や国際室の方々が常に手厚くサポートをしてくださったため、安心して渡航し学習をすることができました。また、渡航先でのプログラムも充実しており、専門的な講義から観光まで多方面にわ

たる経験をする事ができたため、かけがえのない思い出ができ、その国でしか得られない知識をたくさん身につけることができました。

（３）今後 START プログラムに参加する後輩へのアドバイス

START プログラムは、どのコースでも多くの貴重な経験をする事ができ、様々な活動を通して多方面に繋がりを作ることができます。英語力や適応力に不安を感じる人もいるかもしれませんが、同じプログラムに参加する人たちはほとんど皆同じくらいのスキルで、困難もみんなで乗り越えていくので心配しなくても大丈夫です。思いがけない出来事が起こったとしても、後から振り返れば色々ところで話すことのできる笑い話になると思います。何より、日本とは異なる文化に実際に身を置いたことで得た知識や経験は生涯、物事を考えたり仕事をしたりする上でかけがえのないメリットになるため、存分に留学を楽しんでください。

具体的なアドバイスとしては、渡航前に地球の歩き方などの本を買って渡航先について調べておくことで、より留学を楽しめるものにすることが出来るためおすすめです。特に渡航先が英語圏でない場合は、食べ物や簡単な挨拶などの言葉を覚えておくことで、現地で食事に行ったり買い物をしたりするハードルが低くなります。また、洗濯機の置いてあるホテルであったとしても、洗濯機の数が少なく、なかなか洗濯ができない場合があるため、下着などの洗濯ができなかったら困るような衣類は特に多めに持って行くことを推奨します。ちなみに現金は多めに持っておいて損は無いです。